J-Fes 2017年度活動成果報告会

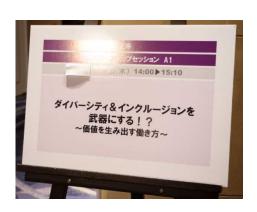
ダイバーシティ&インクルージョン研究会 ~価値を生み出す働き方の研究~

4月26日(木) 14:10-14:40



アジェンダ

- 1. はじめに
- 2. キーワード紹介
- 3. メンバの声
- 4. 参加企業の制度調査結果
- 5. おわりに



「ダイバーシティ&インクルージョン」の定義

「ダイバーシティ」

多様性、人と人とのすべての違い

「インクルージョン」

一人ひとりの存在を認め尊重し 多様な意見やアイディアを聴き入れること

「ダイバーシティ&インクルージョン」

多様性を受け容れ、様々な意見やアイディアを聴き入れることで組織の競争力を高める「成長戦略」

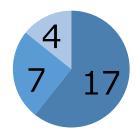
http://www.inclusion-inc.jp/cn46/pg422.html より

メンバ構成:28名(26社)

立場:■社内での推進を考えたい

■ご自身のよりよい働き方を考えたい 7名

■ その他 4名



性別:男性(5名)、女性(23名)

年齢: ■25~29歳 2名

■ 30~34歳 4名

■ 35~39歳 5名

■ 40~44歳 9名

■ 45~49歳 1名

■ 50~54歳 7名



※参加者ご本人へのアンケート結果より

17名

活動スケジュール

	日時	テーマ
第1回	2017年5月24日(水) 10:00~13:00	顔合わせ、活動方針説明身近なダイバーシティ&インクルージョン(ワールドカフェ)
第2回	2017年7月12日(水) 10:00~13:00	• よい話し合いに必要な条件、要素は何か(ワールドカフェ)
JUASスクエア	2017年9月7日(木) 14:00-15:10	(9月7日~8日 JUASスクエア) ⇒ 9月7日にクローズアップセッションで70分の発表
第3回	2017年9月27日(木) 10:00~13:00	JUASスクエア振り返り制度アンケートに関して
第4回	2017年11月17日(金) 10:00~13:00	わたしたちが考える「インクルージョン」の定義制度アンケートに関して
第5回	2018年1月19日(金) 10:00~13:00	・ 講演(D&Iに必要なアサーティブネス、アカウンタビリティ)・ 制度アンケート集約結果報告
(自主開催)	2018年2月2日(金) 16:00~18:00 18:00~20:00	講演+ワーク交流会
第6回	2018年3月16日(金) 10:00~13:00	クロージング第1回~第5回振り返り
		(c) JUAS

第1回ワールドカフェより

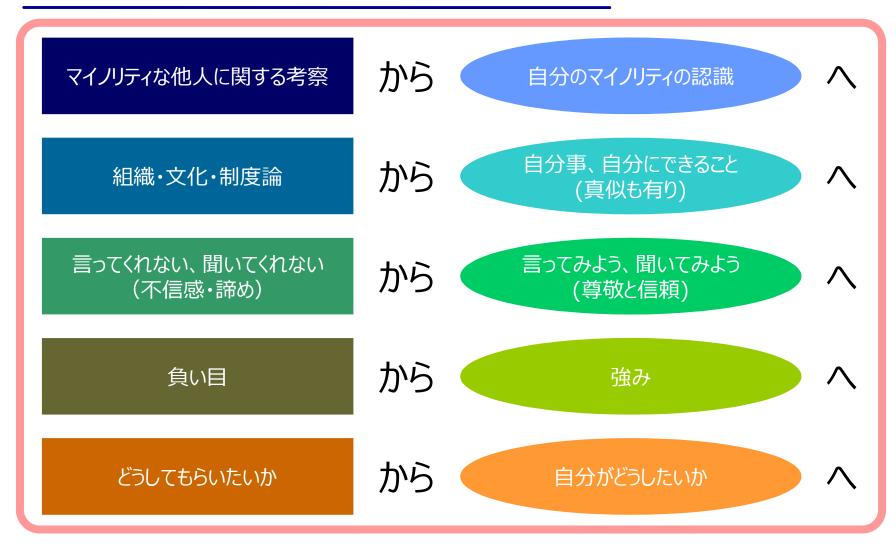
8

女性の 障がい者 マネージャや 増加 LGBT スペシャリストィクボス、 女性の退職減 当たり前感 男性の育休 が重要 グローバル化 多様な 男女差の 男性の 人材 縮小 介護休職 雇用延長者 第1回ワールドカフェ 増加 「ダイバーシティ& 本人がどう インクルージョン」 したいのか っぽいこと」 専門部署 コミュニ の設置 ケーション 組織や が重要 その他 制度による 社外でやる 後押し ことがない男性が テレワーク、 それぞれの 長時間働くの? モバイルワーク 強みを 活かす ワークライフ マイノリティー 負い目感が 成果主義 バランス への評価 ない (c) JUAS

第2回~第6回

9

聞くのを 選択肢を 話すのを 諦めない 自己主張と 増やし続ける 準備、スキル、 諦めない 自己責任 テクニック 違いは強み 感情的に 第5回 ならない、 自分事にする、 第2回 アサーティブ 嘘をつかない 弱みへの 興味を持つ アカウンタビリティ 良い話し合い 対応も いろいろ マイノリティ 疎外しない 第2回~第6回の 実感:ハイ キーワード パフォーマンスの 部署はD&I 尊敬と信頼 最低限の 第6回 環境や土壌は 第4回 必要 価値を生む インクル 心理的安全。 あきらめない、 には? 安心感 ージョン 「良いと思う」 押しつけない から一歩進んで 引け目を 考えてみる 多様である ルールと 感じないで 当事者になり 非常識の ことを理解 許容の境目 いられる 共感する 中に宝物 (c) JUAS



(c) JUAS 10

3. メンバの声

3. メンバの声

インフォテック株式会社 様 JFEシステムズ株式会社 様 富士ゼロックス情報システム株式会社 様 二ッセイ情報テクノロジー株式会社 様 明治安田システム・テクノロジー株式会社 様 ANAシステムズ株式会社 様



4. 参加企業の制度調査結果

4. 参加企業の制度調査結果

◆経緯◆

参加メンバからの「各社の制度に関する情報を知りたい」 という声を受け、各社の制度についてアンケートを実施し 結果を共有することにした

⇒ 調査結果は別資料

5. おわりに

5. おわりに

「ダイバーシティ&インクルージョン研究会」は個性的!?

- ・女性の参加が多い
- ・午前中開催(素敵なランチ会付、夜の飲み会は1回だけ)
- ・2回の研究開催だけで、スクエア登壇。。。



JUAS研究会の1つとしてインクルージョンされることで・・・



価値のある「時間」「繋がり」「気付き」を生み出した!?

5. おわりに

2018年3月26日(月)日経新聞朝刊「企業」面「経営の視点」「ダイバーシティへの本音」より(抜粋)

多様性を分類する物差しは2種類ある。年齢、性別、収入など明快なものと気質や嗜好といった見えにくいもの。見える物差しと、見えない物差しの混同は多様性を巡る疲弊や混乱を生み、異質な人材が混在しのびのび振る舞ってこそイノベーションが生まれる点が忘れられてしまう。米グーグルは自社内で生産性の高いチームは、個性や異論、個人的事情を仲間にさらけ出せる「心理的安全性」を備えた集団だったとの研究結果を発表している。とがった個性を持つ人に多数派への同化を強いれば見た目は多様化しても中身は逆に画一化が進む。これでは意味がない。

キーワードはダイバーシティ&インクルージョン(包摂)、略称D&I。 部下の個性や価値観の違いをくみ取り、力を発揮させビジネスの革新に 生かす。そのため上司にはきめ細かい対話術などのスキルが必要になるという。 価値観や偏見など心の分野は企業にとって扱いが難しく完全な手本はない。 そのぶん挑戦しがいがあるテーマともいえる。

来年度研究会継続決定!

メンバそれぞれの想いを インクルージョンしあう ことで生まれる価値を更 に探究していきます!!

(c) JUAS 17

ダイバーシティ&インクルージョン研究会 ~価値を生み出す働き方~

ダイバーシティ&インクルージョン研究会部会長、副部会長

2017年度ダイバーシティ&インクルージョン研究会メンバー(順不同)

JUAS事務局

JUAS ダイバシティ&インクルージョン研究会 制度アンケート調査(抜粋版)

2017年度 活動成果報告会

2018年4月26日(木)

一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会

調査概要

対象 : JUAS 2017年度

ダイバシティ&インクルージョン研究会 参加メンバー

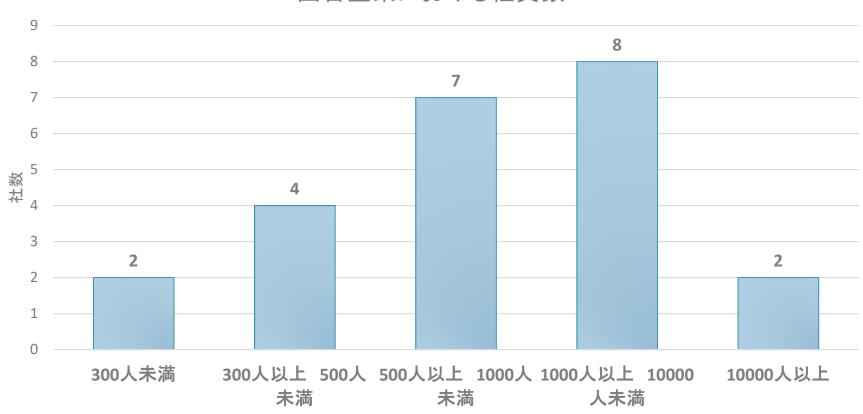
期間 : 2017年10月15日~2017年12月15日

形式: エクセルファイルによる記入・提出

回答: 23社(26名)

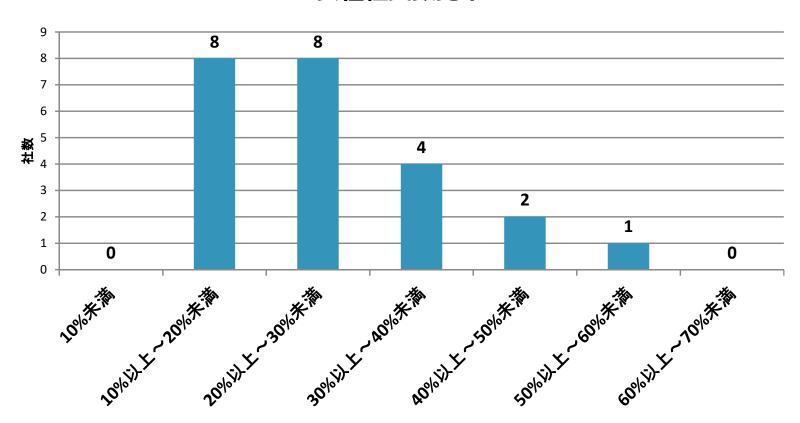
①一(a)回答企業における社員数

回答企業における社員数



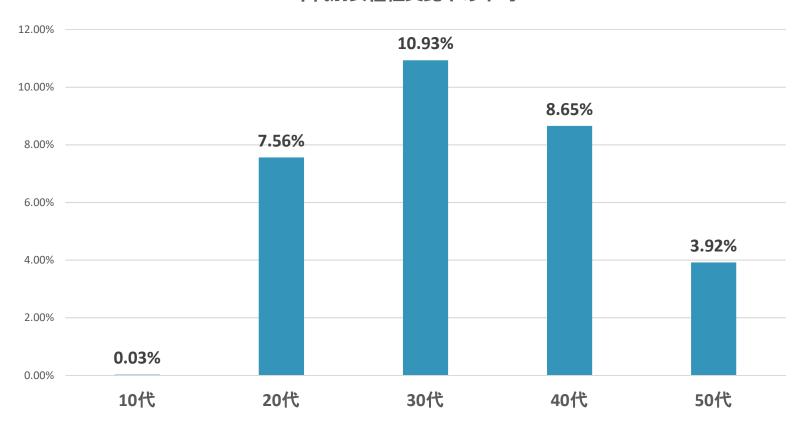
①-(c)女性社員比率

女性社員数比率



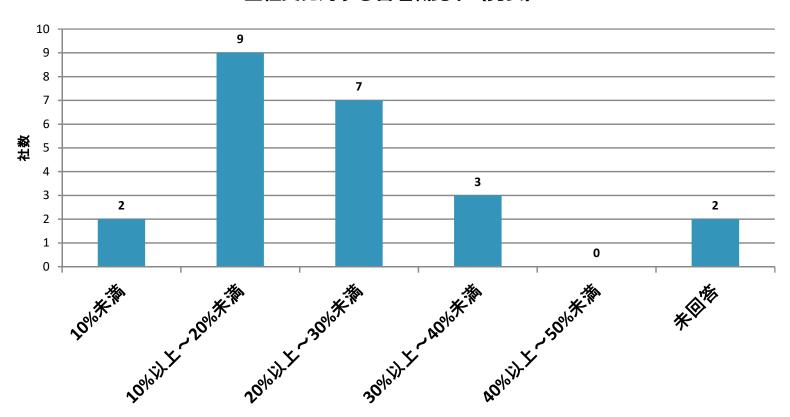
②年代別女性社員人数

年代別女性社員比率の平均



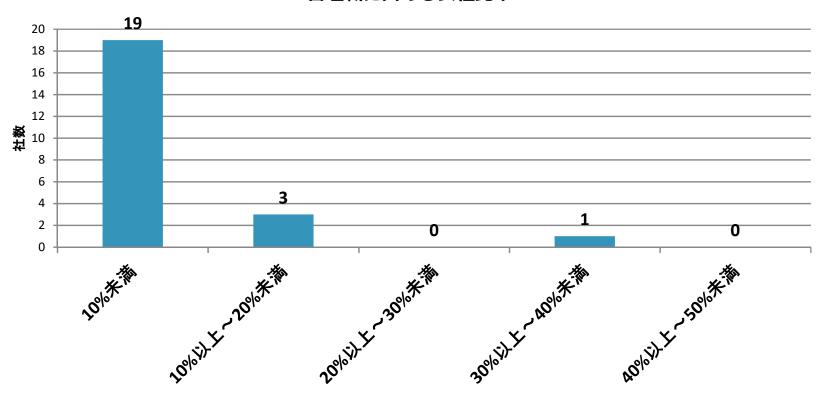
③全社員に対する管理職比率(男女)

全社員に対する管理職比率(男女)



④管理職に占める女性比率

管理職に占める女性比率



3.就労支援制度

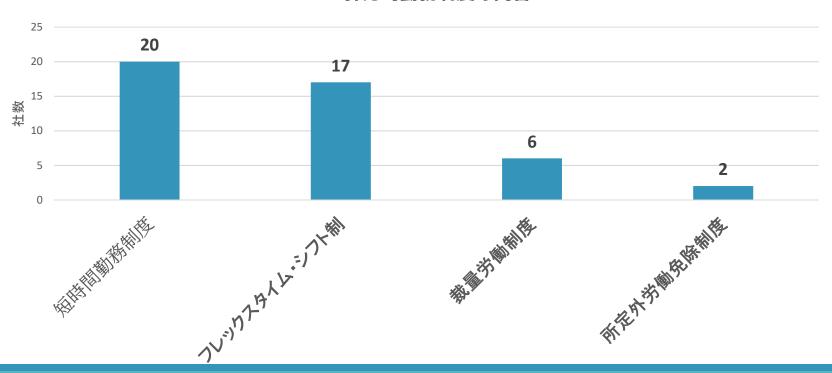
4一①弾力的勤務時間制度

- ①弾力的勤務時間制度の有無
- ②弾力的勤務時間制度の内容

有:21 回

回答なし: 2

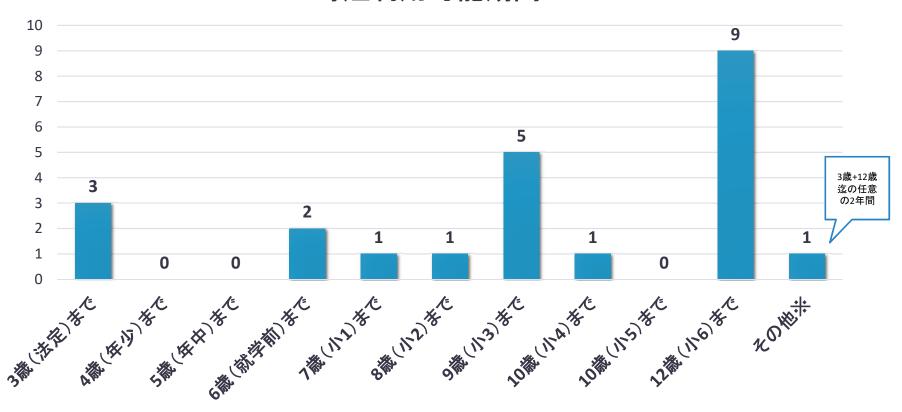
弾力的勤務制度の内容



3.就労支援制度

4-3時短利用可能期間(育児の場合)

時短利用可能期間



4.復帰支援•教育•面談

- ① (休職、休業等) 復職支援制度
- ①復職支援制度の有無 有:17 回答なし: 4 未回答:1
- ②復帰支援制度の内容
- ・復職時面談・リハビリ勤務
- ・育児休職からの復職者セミナー
- ・産業医との面談、復職プログラムの実施
- ・職場において復職前・復職後の面談は必ず実施

4.復帰支援•教育•面談

- ② (女性、セカンドキャリア等) キャリア研修・支援制度
- ①キャリア研修・支援制度の有無 有:19 なし:3 未回答:1
- ②キャリア研修・支援制度の内容
- ・50歳以上対象のライフプラン研修・女性管理職向けの外部研修受講推進
- ・<本人向け>女性キャリア開発セミナー <上司向け>多様な人材の活躍推進講演会、 育児期 の部下を持つ上司セミナー、管理者研修
- ・総合研修センターにて各種研修あり。ダイバーシティ推進室でも 女性向け研修を実施。
- ・人事部主催の研修やセミナーがある

5.就労支援策

1-12テレワーク制度

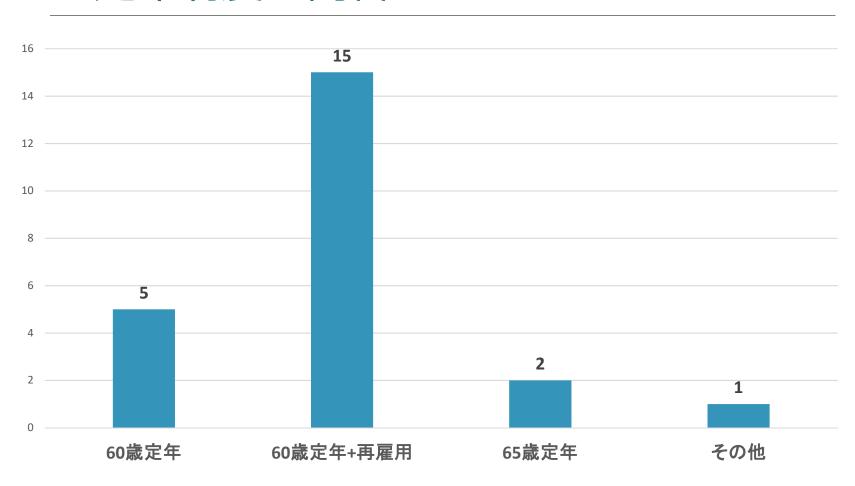
①テレワーク制度有無 有:16 無:6 回答なし:1

②①有のうち、テレワーク対象者制限有無 有:14 無:1

テレワーク利用の条件

- ・育児・介護等の事由がある者
- ・入社3年(中途は1年)以上
- ・短時間勤務や軽勤務でないこと。 業務を自立して遂行できるグレードに昇格していること (入社8年目くらい~)
- ・個別に審査(業務内容、勤怠など総合判断)
 - →利用可能者の勤務年数は各社様々

6.雇用延長 定年制度の内容



6.**雇用延長** 定年後人材活躍の取り組み

- ①定年後人材活躍の取り組み有無 有:13 なし:9 回答なし:1
- ②有の場合の具体的取り組み
- ・再雇用制度(大多数)
- ・職級の付与
- ・自社全グループで働くことが可能な再雇用制度、他社での就職支援制度等

7.ダイバシティの推進体制

・ダイバシティは社内横断PRJ、健康経営は総務。

・ダイバーシティ:人財開発T

健康経営:人事T

働き方改革:働き方改革推進Tのチーム別に区分している。

・ダイバーシティ ・・ 人事部門

健康経営・・・総務部門

働き方改革・・・ 働き方推進専門組織

- ・マンパワー的にできそうな所に都度振り分けている。 様々なチームが乱立している状態。
- ・専門組織はなく、全社の委員会でメンバーをアサインし検討。